

小学生オンライン交流会 報告書

1 目的

青梅市の将来を担うこどもたちが、それぞれのテーマについて他校との意見交換・交流を通じて、市政運営に対し、興味・関心をもってもらうとともに、こどもたちの声を市政運営に反映させることを目的として開催する。

2 日時

令和7年7月23日（水）

午前9時30分から午前11時30分まで

3 会場

各学校間と市役所で実施（オンライン開催）

4 参加児童

小学校16校（東小学校除く） 68名

5 実施概要

(1) 当日スケジュール

第一部

9：30	開会	2 分
9：32	説明・注意事項	3 分
9：35	グループごとに意見交換	3 分
10：15	休憩	4 分
10：25	発表（各グループ3分以内）	1 分
10：50	市長・教育長講評	2 分
10：58	閉会	2 分

第二部

11：05～11：20	交流会（感想・意見交換）	15分
11：20～11：30	市長への質問タイム	10分

(2) 当日の役割分担

全体司会…成木小学校

開会挨拶…霞台小学校

閉会挨拶…若草小学校

グループリーダー・発表…「6 テーマ」の網掛けの学校

(3) 実施方法

オンラインによる交流とし、「6 テーマ」のグループのルームに分かれ、事前に各校で話し合ってきたワークシートをもとに意見交換を行った。グループで話し合ったことを全体ルームで発表した。

6 テーマ

テーマ		小学校
「みんなが通いやすい、より良い学校にするためには」	グループ A	第二小、新町小、 友田小、吹上小
	グループ B	第三小、第四小、 霞台小、藤橋小
	グループ C	第一小、第五小、 成木小、若草小
	グループ D	第六小、第七小、 河辺小、今井小
「こどもたちみんなが幸せなまちについて」	グループ E	第一小、第三小、 河辺小、友田小
	グループ F	第六小、霞台小、 若草小、吹上小
	グループ G	第二小、第四小、 成木小、今井小
	グループ H	第五小、第七小、 新町小、藤橋小

7 発表内容

(1) 「みんなが通いやすい、より良い学校にするためには」

グループ A

挨拶運動に力を入れようという意見が出ました。毎朝、明るい挨拶からスタートすることで、学校全体が明るくなり、みんなが楽しく通える学校になると思うからです。それぞれの学校で行っている挨拶運動を青梅市全体に広げていけるように、青梅挨拶運動週間をつくってもよいと思いました。

グループ B

いじめがなくなり笑顔があふれて健康な学校になるといいと思いました。そのためには、丁寧な言葉づかいでみんなの意見を否定しないことがよいと思います。ほかにも手洗いを欠かさずに、なるべく給食を残さず食べることが大切だと思

いました。

グループC

他の学校と交流の場を市に作ってもらうことで、思いやりやハッピーになれるという意見が出ました。

また、手を挙げなくても意見が言える授業（になるといいという意見）では、低学年はパソコンなどを使って（意見を言う）、高学年については大人になった時に手を挙げる力も大切だという意見も出たので、高学年の人たちは手を挙げて意見を言うなど（意見がありました）。

パソコンを使うときに不具合が起こると授業の妨げになるので、今のクロームブックだとときどき不具合が起こるので他のものに変えるよう検討してほしいです。

また、登校に時間がかかる児童がいるので自転車通学などを検討してもらいたいです。

付箋を使って、されて良かった事を貼ったり、いじめゼロスローガンをつくることでいじめがなくなったり仲を深めることができます。市に頼らなくともできるので良いと思います。このような意見が出ました。

グループD

安全のためや学習に集中するために、施設や学習用具を良くしていく、みんなが仲良くするためにもっと全校遊びやクラス遊びをする、色々な学校や学年が集まる場所を作る、市のホームページに載せていく、植物や動物など自然を大切にする、笑顔で挨拶をする、人の気持ちを考える、安全パトロールをするなどほかにもたくさんの意見が出ました。他の学校の考えを聞いて賛成意見や質問などが出ました。

時間が余ったのでもう一つのテーマについても意見を交換しました。

主な意見は、1つ目は、図書室で静かで安心できる場所を増やす。2つ目は、家の近くの山など自然の音に癒される。3つ目は家が一番安心できる、好きなものに囲まれている、家族や友達が大切。4つ目は、公園、プール、体育館、市民

センター等の施設を増やしてほしいという意見が出ました。

なぜかというと、みんな誰でも気軽に遊べて色々な人と仲が深められると思ったからです。

(2) 「こどもたちみんなが幸せなまちについて」

グループE

静かで安心できる場所と遊具やベンチのある広い公園があるとよいという結果になりました。発言も多くハキハキ発表していたのでとても聞き取りやすかったです。とても良い話し合いになったと思います。

グループF

安心できる場所について話しました。最近は、悪い人や事件が起きるニュースを見ることが多いので公園や神社などに防犯カメラをつけ、図書館や学童、子どものいる場所に入退館システムをつけると安心して利用できるという意見にまとめました。

次に、図書館について、設置してほしいという意見とともに十分という意見が出ました。この中で、本を取り寄せたり、購入することも可能という意見から、優先度が低いと考えました。

居場所としてこどもたちが運動できて交流できる場所が必要という意見が多く出ました。設置場所としては、交通公園の跡地や日向和田に設置するなどの意見が出ました。

これらの意見からこどもたちが安全に遊んだり交流できる場所があるといいと考えました。

グループG

友達といふとき、友達と話をしている時が一番安心できるという意見が多くありました。そう思った理由は、自分の最大の味方は、友達や家族なので一緒にいると一番安心するという意見が多くありました。こどもたちが色々な人たちと関わり合えるところや相談できる場所があるといいと思いました。

グループH

意見がたくさん出ましたが、主な賛成の意見は、図書館や誰でも入れる体育館、大人もいる自然のある公園、駄菓子屋さんがほしいという意見が出ました。なぜ大人が必要かというのは事件や事故、こどもでは解決しきれないことが起こった場合、大人が必要だからです。

8 学校アンケート

(1) アンケート回収状況

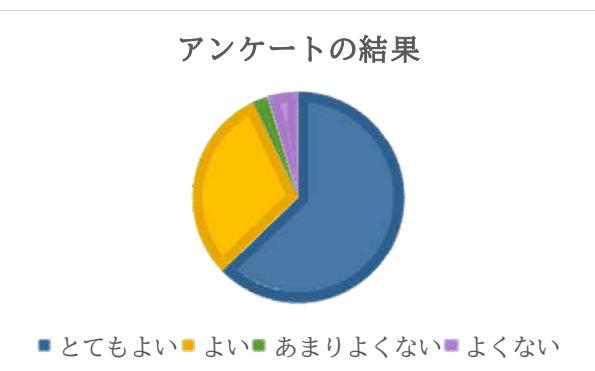
【全体】 43名

とてもよい… 27名

よい… 13名

あまりよくない… 1名

よくない… 2名



(2) 「小学生オンライン交流会」全体をとおしての御意見や御感想（自由記述）

ア 児童

- ・みんなからでた意見が実現されればいいと思います。
- ・中学生になってもやりたいと思いました。オンラインもいいのですが、直接みんなで大きな会場に集まってやりたいと思いました。
- ・すごく貴重な体験になりました。
- ・いろいろな学校の子達と交流できて楽しかったからです。
- ・色々な学校の人と話せて楽しかったから。
- ・いろいろな意見が出て、青梅がより良くなりそうだと思ったから。
- ・他の学校の人たちも積極的に意見を発表していたためとても考えたりして思い出に残る体験になった。
- ・みんなの意見があって自分の視野が広がりました。
- ・コミュニケーション力が上がったから。
- ・自分たちでは思いつかなかった「より良い学校にしていくためには」案を聞くことができ良かった。
- ・自分にはない考え方を見つけることができたから。
- ・司会をやってみて緊張したけど他の学校の方がいろんな意

見を出していたので進めやすかった。

イ 学校関係者

- ・ 子供にとって、とてもよい経験になりました。ありがとうございました。
- ・ 児童が積極的に発言する姿が見ることができて、大変うれしく思った。
教職員の手をほとんど借りりずに、その場で臨機応変に質疑応答や自身の意見を伝えることができていたのが良いと思う。
- ・ オンライン交流会のように、市内の小学校が交流できる機会を今後も増やしてほしい。また、コロナ禍もほぼ終息に向かっているため、オンラインではなく対面での開催もよいのではないかと考える。
- ・ テーマが子供たちに身近であり、自分でよりよい学校や青梅市をつくろうとする気持ちを高めることができたため。
- ・ 今後も続けるのであれば、後半に取り組んだ各学校同士の交流を、例えば学校紹介にしたり互いに気になることについて質問し合ったりするなど、各校の交流ができるといいのではないかでしょうか。また、市長と交流する機会もあまりないので、そのような場にするといいのではないのでしょうか。
- ・ これまでのオンライン交流会によって「市政運営」にどう生かされていたのか、今回もその役に立つものだったのか不明だから。
- ・ 今回で3回目の参加になりますが、以前より話し合うテーマが子供にとって身近になり、考えやすいものになっていると感じました。ただ、その話し合いの内容がどのように生かされているのかが見えない（ホームページなどにあつたらすみません）ので、見えるようにしていただけるとありがとうございます。ありがとうございました。